

(第1号議案)

平成30年度

# 事業報告書

(自平成30年4月1日～至平成31年3月31日)

## 障害福祉サービス事業

- ・生活介護事業 いずみ園、のぞみ
- ・共同生活援助事業 増尾台ウィズホーム
- ・短期入所事業 増尾台ウィズホーム

## 地域生活支援事業

- ・日中一時支援事業 たんぽぽ

## 相談支援事業

- ・指定相談支援事業 いずみ園相談支援センター

社会福祉法人 緑の会

## 平成 30 年度社会福祉法人緑の会事業報告

### 目 次

<b>【社会福祉法人緑の会】</b>	
○事業概況	3
○理事会、評議員会の開催	4
○監事監査	4
○各事業の経営	5
<b>【生活介護事業いずみ園等事業報告】</b>	
I. 会議の開催	7
II. 研 修	8
III. 施設諸行事	9
IV. 行政及び対外関連、会議・総会・視察・見学等	9
V. 労務相談・会計相談・法律相談	9
VI. 日中活動	10
VII. レクリエーション活動 VIII. 音楽療法	11
IX. いずみ園喫茶 X. 健康管理	11
XII. 管理体制	11
XIII. その他	12
<b>【共同生活援助事業・短期入所事業 増尾台ウィズホーム事業報告】</b>	
I. 会議の開催	15
II. 研 修	15
III. 行政及び対外関連、会議等	15
IV. 生活支援	15
V. ホーム見学者及びボランティア	16
VI. 防災訓練の実施、防犯体制の整備	17
VII. ホーム内設備・点検・保守等	17
<b>【相談支援事業 いずみ園相談支援センター事業報告】</b>	
I. 計画相談支援実績	18
II. 研修	18

## 社会福祉法人緑の会 事業報告

### <事業概況>

社会福祉法人緑の会は、障害者総合支援法に基づき、ノーマライゼーションの理念のもと、利用者を主体とした、そして地域に開かれた事業運営を進めました。

期初に掲げた法人事業の重点目標については以下の結果となりました。①新社会福祉法への対応については情報開示により事業運営の透明性の向上及び財務規律の強化等に努め、地域社会に根付き、事業内容の充実と経営基盤の強化に努めました。②情報共有システムを取り入れたことで業務内容の効率化につながり、仕事の引継ぎもスムーズに行えています。③様々な求人媒体を利用し求人活動を行いました。人材を確保することは出来ませんでした。④ホームページの刷新は出来ませんでした。ホームページ上に情報開示し透明化を図ることが出来ました。⑤トイレ内でのリフトを検討したが、現状に合うものが無く、今後も検討していきます。

いずみ園・のぞみの目標としていた、①個別支援計画に基づいた支援方法の統一は、研修を9回実施し、常勤非常勤を通じて支援方法を共通化及び活動内容の見直しに繋がりました。②職員の意識向上のための研修については、初任者研修や虐待防止研修など意識向上に繋がっています。また、医ケアに対応するため喀痰吸引研修にも参加しています。③給食サービスの向上については、食事のマナー化を防ぐために毎月給食会議を行っています。また、お寿司キャラバンや天ぷらキャラバンなどは利用者さんに好評でした。④職員による介護機器の活用については、また、トイレなどで活用できるリフト等を検討中です。⑤コストの削減については、物品の数をしっかり管理し、大事に扱うことでコスト意識をしっかりと持つことが出来ています。

増尾台ウィズホーム共同生活援助事業については、入居者に関わる様々な事業との関係性が深まり、より安定した生活できるようになっています。また近隣との関係も徐々に馴染んでいるように感じます。同所の短期入所事業については共同生活援助の利用者のADL低下が顕著のため、短期入所利用者までは手が足らず、6月から休止しています。

相談支援事業については、各関係機関との信頼関係構築に基づく実績の積み上げが出来ています。また、相談支援技術のスキルアップを目指した研修を重ね、様々なケースに対応できるようになりました。

以上

### 1. 理事会の開催

開催期日	主 な 議 題
第 1 4 1 回 (6. 8)	平成 29 年度事業報告・決算 (案) について 平成 30 年度第 1 次補正予算 (案) について 定款の変更について 役員報酬規定の改正について 費用弁償規定の廃止について 非常勤職員就業規則の改正について 定時評議委員会の開催について
第 1 4 2 回 (9. 14)	平成 30 年度第 2 次補正予算 (案) について 就業規則の改正について
第 1 4 3 回 (12. 14)	平成 30 年度第 3 次補正予算 (案) について いずみ園第 2 駐車場賃貸契約更新について
第 1 4 4 回 (2. 13)	職員人材不足について
第 1 4 5 回 (3. 22)	平成 30 年度最終補正予算 (案) について 平成 31 年度事業計画 (案)・予算 (案) について 平成 31 年度緑の会資金計画 (案) について 平成 31 年度給食業者選定について 就業規則の改正について 平成 31 年度監事監査計画書について 次期評議員選定について

### 2. 評議員会の開催

開催期日	主 な 議 題
第 53 回 (6. 22)	平成 29 年度事業報告及び決算について 定款の変更について 役員報酬規定の改正について 費用弁償規定の廃止について 非常勤職員就業規則の改正について

### 3. 監事監査

実施期日	主 な 監 査 項 目
第 1 回 (4. 25) 期末監査	①期末帳簿残高と銀行の残高証明書との照合 ②現金の保管状況及び保管責任者の確認と期末帳簿残高との照合 ③行政からの補助金収入の明細書と付帯条件の充足状況の確認 ④労働基準法第 36 条に基づく労使協定の締結状況の確認 ⑤理事会及び評議員会の議事録の整備状況と記載内容の確認 ⑥定款記載内容の励行の確認 ⑦職員理事業務分掌の確認 ⑧ウィズホーム利用者からの預り金の保管状況と経理処理内容の確認

第2回 (8. 8)	⑨東京海上火災の役員賠償責任保険について 定期監査 随時監査 定款に合わせた登記簿の修正について 定期監査 定期監査
第3回 (10. 31)	
第4回 (11. 14)	
第5回 (2. 6)	

※平成31年3月31日現在

4. 生活介護事業 いずみ園の経営

- ・利用定員 (1日あたり) 40名
- ・契約者数 44名 (前年比4名減)
- ・1日平均利用者数 25.3名 (前年比2.6名減)
- ・延べ利用者数 7,767名 (前年比843名減)
- ・開所日数 307日 (前年比2日減)
- ・利用率 49.8% (前年比19.3%減)

5. 生活介護事業 のぞみの経営

- ・利用定員 5名
- ・契約者数 4名 (前年比1名減)
- ・1日平均利用者数 3.2名 (前年比0.1名減)
- ・延べ利用者数 776名 (前年比20名減)
- ・開所日数 246日 (前年比1日減)
- ・利用率 63.1% (前年比1.9%減)

6. 共同生活援助事業 増尾台ウィズホームの経営

- ・利用定員 8名
- ・契約者数 8名
- ・1日平均利用者数 7.7名 (前年比0.2減)
- ・延べ利用者数 2,763名 (前年比81名減)
- ・利用率 95.8% (前年比0.9%減)

7. 短期入所事業 増尾台ウィズホームの経営

- ・利用定員 2名
- ・実利用者数 15名 (前年比4名減)
- ・1日平均利用者数 0.2名 (前年比0.6名減)
- ・延べ利用者数 51名 (前年比298名減)
- ・利用率 1% (前年比32.9%減)

8. 日中一時支援事業 たんぽぽの経営

- ・利用定員 (1日あたり) 10名
- ・実利用者数 5名
- ・延べ利用者数 31名 (前年比330名減)
- ・開所日数 307日

9. 指定相談支援事業 いずみ園相談支援センターの経営（障害児含む）
- ・サービス利用支援（計画作成） 128件（前年比28件減）
  - ・継続サービス利用支援（モニタリング） 220件（前年比7件増）

【職員総数】

○平成30年4/1 39名

施設長	1名（常勤1）
事務長	1名（常勤1）
副施設長	1名（常勤1）
主任生活支援員	2名（常勤1 非常勤1）
ホーム長	1名（常勤1）
生活支援員・世話人	20名（常勤5 非常勤16）
相談支援員	2名（常勤1 非常勤1）
看護師	3名（非常勤3）
事務員	2名（非常勤2）
運転手	6名（非常勤6）
	（嘱託医・契約医 1名ずつ）

○平成31年3/31 39名

施設長	1名（常勤1）
事務長	1名（常勤1）
副施設長	1名（常勤1）
主任生活支援員	2名（常勤1 非常勤1）
ホーム長	1名（常勤1）
生活支援員・世話人	22名（常勤6 非常勤12）
相談支援員	2名（常勤1 非常勤1）
看護師	3名（非常勤3）
事務員	2名（非常勤2）
運転手	4名（非常勤4）
	（嘱託医・契約医 1名ずつ）

事業報告

I. 会議の開催

1. 職員会議の開催

施設の運営につき、職員相互の情報の共有、周知徹底、詳細手続きの決定等のため職員会議を開催いたしました。

開催期日	主 な 議 題
4. 26	新人職員振り返り
5. 24	ホーム利用者の入浴について 理学療法士について
6. 21	盆踊りについて 業務分担について
7. 26	盆踊りについて 仲間の会について 実習生に対する注意事項
8. 23	利用者処遇について いずみ園祭について
9. 27	いずみ園祭について
10. 25	アニマルセラピーについて クリスマス会について
11. 22	クリスマス会について
12. 13	クリスマス会について いずみ園喫茶について
1. 24	次年度事業計画・予算について 送迎案について
2. 21	事業計画について
3. 26	平成31年度の活動内容について

2. ケース会議の開催

利用者がいずみ園における創作活動・生活支援を個々の障害や特性に応じて効果的に行えるように、職員によるケース会議を開催いたしました。

開催期日	主 な 議 題
4. 12	利用者状況（ワーク、排泄、食事、健康体操、入浴、送迎等）について 30年度活動内容について
5. 10	利用者状況（ワーク、排泄、食事、健康体操、入浴、送迎等）について 利用者（近藤さん）について
6. 21	利用者状況（ワーク、排泄、食事、健康体操、入浴、送迎等）について 利用者（成田さん・中村さん・野寺さん）について
7. 12	利用者状況（ワーク、排泄、食事、健康体操、入浴、送迎等）について 利用者（成田さん退院後のご利用について）
8. 23	利用者状況（ワーク、排泄、食事、健康体操、入浴、送迎等）について ヒヤリハットの利用について
9. 27	利用者状況（ワーク、排泄、食事、健康体操、入浴、送迎等）について 送迎時の対応について
10. 11	利用者状況（ワーク、排泄、食事、健康体操、入浴、送迎等）について 工賃支給について 新利用者について
11. 8	利用者状況（ワーク、排泄、食事、健康体操、入浴、送迎等）について

12. 6	利用者状況（ワーク、排泄、食事、健康体操、入浴、送迎等）について 長期入院している利用者について
1. 24	利用者状況（ワーク、排泄、食事、健康体操、入浴、送迎等）について ウィズホーム利用者のADL低下について
2. 7	利用者状況（ワーク、排泄、食事、健康体操、入浴、送迎等）について
3. 7	利用者状況（ワーク、排泄、食事、健康体操、入浴、送迎等）について 次年度の活動内容について

※その他必要に応じホーム会議の報告をしました。

### 3. 給食会議の開催

給食サービス内容の向上を図る為、利用者のニーズを把握した上で、職員・給食業者による給食会議を月に1回開催いたしました。

議題は前月の献立の良かった点・改善点、前回給食会議で指摘したことの確認、その他となっています。行事食・お楽しみ給食は以下のとおり行い、今年度は温かく充実した給食が提供できるようにしました。

開催期日	行事食・お楽しみ給食
7. 26	収穫祭（フライドポテト）
8. 7	夏祭り（お好み焼き・焼きそば）
11. 13	お寿司キャラバン

## II. 研 修

### 1. 施設外研修への参加

開催日	研 修 内 容
5. 13	市町村審査会委員研修
5. 25	障害者(児)福祉施設新任職員研修
5. 28	柏市障害者虐待防止研修会
6. 7	新人（新任）職員福祉入門講座
6. 7～8	防火管理者研修
8. 29～30	相談支援従事者初任者研修
12. 21	人事評価研修
1. 29	会計実務者研修
10. 20～24	施設長研修
5月～3月	喀痰吸引研修

### 2. 施設内研修の実施

施設職員として資質向上、技術向上のための研修を実施しました。

開催日	研 修 内 容
4. 19	虐待防止について
5. 17	介護職員としての心構え
8. 2	利用者状況の確認
9. 20	利用者状況の確認
11. 15	日中活動の見直し・確認

12. 19	感染症予防について
1. 17	次年度の日中活動について
2. 13	次年度の日中活動について
3. 14	平成 31 年 4 月からの働き方改革改正法について説明 次年度の日中活動について

※個別支援計画研修 9 回

### Ⅲ. 施設諸行事

いずみ園を地域社会との関わりの深い開かれた施設とすることを目指し、地域住民が参加できる行事を開催しました。

#### 1、年間諸行事の開催

開催期日	開催行事名
4. 3	新利用者を迎える会、いずみ園サポートの会報告会
4. 16	ハンドトリートメント
7. 6	七夕飾り
7. 17	ハンドトリートメント
8. 7	盆踊り
8. 30	仲間の会活動
10. 21	いずみ園祭
12. 25	クリスマス会
1. 4	新年会
2. 4	節分豆まき
3. 1	ひな祭り
3. 4	友近 890 コンサート
3. 6	仲間の会活動
3. 14	仲間の会役員選挙

### Ⅳ. 行政及び対外関連、会議・総会・視察・見学等

期 日	内 容 等
4. 3	松の実会入園式出席
4. 25	柏市集団指導出席
6. 9	柏さくらライオンズクラブお寺コンサート参加
9. 15	藤心地区社協敬老の集い送迎車両貸出
10. 31	柏市法人指導課による前年度の指導監査の改善状況の確認
2. 15	柏市による生活介護いずみ園・のぞみ実地指導
3. 14	逆井小学校卒業式出席
3. 16	松戸特別支援学校卒業式出席
3. 19	柏市障害福祉課により短期入所休止に関する話し合い

### Ⅴ. 労務相談、会計相談、法律相談

池田社会保険労務士事務所 4回 30年度は相談内容について記載  
木村会計事務所 3回

## VI. 日中活動

目的をもった2つのコースのどちらかを利用者に選択していただいた上で、利用者の日中活動支援を行いました。

### (1) 生活自立コース

【目的】①生産活動や社会参加をとおして、生活していくための技術や知識を身に付ける。

②身体機能の維持を図る。(二次障害の予防)

【内容】生産活動 - ピロケース、ステンシル染色、雑巾、バスマット、フェルトボール

生活自立活動 - 食堂清掃、整理整頓 (ロッカー)

健康体操 - 月曜日の午前中に体操ビデオを見ながら体を動かしたり、ストレッチ等を行いました。

バザー参加

開催期日	開催行事名
5. 27	ニッカウイスキーバザー
6. 21	松戸友の会バザー
7. 29	柏まつりバザー
10. 22	いずみ園祭
11. 3	増尾地域ふれあいの集いバザー
11. 11	松特祭

・柏市社会福祉協議会の協力により、柏市教育福祉会館 (ボランティアセンター) にショーケースを常設し委託販売をいたしました。

【工賃】生産活動の売上から利用者に2回 (4月、10月) 工賃を支払いました。

### (2) からだケアコース

【目的】①心身ともに健康の維持 (二次障害の予防) を図る。

②社会参加をとおして、多くの人とふれあい、見ようとする力、感じようとする力を身に付ける。

【内容】からだの時間 - 職員によるマッサージ・ストレッチ

からだほぐしマッサージ - マッサージ師によるマッサージ

足浴アロマー足浴をしながらアロマテラピーをしました

創作活動 - 園内行事の装飾、園内写真飾り、入口掲示板の装飾づくりを行いました。

散歩 - 近隣の公園等に出かけリフレッシュしました。

リラクゼーション - 照明を落とし、レーザースターズ (プラネタリウム) の光の中音楽を聴きました。またスクリーンに映る映像を観ながら歌を歌う等しリラックスして楽しみました。ホットタオルでもリラクゼーションを行いました。

## **VII. レクリエーション活動**

年に13回生活を楽しむレクリエーション活動を設けました。イントロクイズ、車椅子リレー、書初め、風船バレー、ジェスチャークイズなど利用者が楽しめる活動を行っています。この他にも月に一度カラオケの日、映画の日を設けました。

## **VIII. 音楽療法**

講師による音楽療法を行いました。

リトミック5回、車いすダンス5回、笑いヨガ6回

## **IX. いずみ園喫茶**

いつもの食堂とは違う喫茶店のような雰囲気の中で、利用者がグループに分かれ、話題を決め毎回違う紅茶を楽しみました。6回

## **X. 健康管理**

### 1. バイタルチェック

看護師により、体温・脈拍・血圧を計測しました。

### 2. 毎月1回体重測定をしました。

### 3. 健康診断（利用者による受診）結果の写しをいただき参考といたしました。

### 4. 契約医師による巡回相談を年4回行いました。

### 5. インフルエンザ対策マニュアルを改訂し、利用者、職員、ボランティア、来園者にその予防を徹底しました。

### 6. 12月～3月にかけて利用者の家庭で毎朝の検温結果を連絡ノートに記入いただき、体調管理について家庭と連携をとりました。

### 7. 名戸ヶ谷病院より理学療法士を月に1度、派遣して頂き、利用者を見て頂きました。

## **X. 利用者の動き**

### 1. 仲間の会活動

いずみ園の利用者の生活の中で、利用者の自主的な自治会活動として、8月に仲間の会活動として「クイズ大会」、10月にいずみ園祭への出店（射的）、また利用者が企画した「ポッチャ」を3月に実施しました。また、3月後半では次年度へ向けて、役員（会長・副会長・書記・会計）を選挙で選出しました。

## **XI. 管理体制**

### 1. 緊急連絡網の整備

緊急時に対応するためメールでの職員連絡網、利用者の緊急連絡網・メールを整備しています。その緊急連絡網を使用し、大雪、大雨、災害時等の緊急時に効果的に連絡が出来るようにしております。

## 2. 防犯・防災体制の整備

- ・火災震災等に関してはそれに対応すべく、防災訓練を行いました。職員に防災担当をおき、各室ごとに火元責任者を任命して、自衛消防組織を編成し管理しています。平成30年度の防災訓練状況は3回実施し、内1回は消防署に協力を依頼しました。避難訓練の期日は毎年度同様に事前に周知せずに行ったため、より実際に近い訓練ができました。
- ・火災震災等に備えた利用者の医薬品備蓄については、保護者協力のもと3日分を医務室冷蔵庫に保管しております。
- ・防災グッズを館内に配置しております。
- ・事務室には警備会社のセンサー、玄関には熱感知センサーライトによる夜間侵入者への防犯体制を整えています。
- ・車両盗難防止のため防犯カメラの設置をしています。

実施期日	防 災 訓 練 内 容
11. 22	避難訓練・点呼・消火器使用訓練・通報訓練（柏市消防署逆井分署指導による）
2. 25	避難訓練・点呼
3. 29	避難訓練・点呼・屋内消火栓（消防機材センターによる）

## 3. 施設の整備等

職員の中に管財担当者を置き、施設内設備、備品の購入及び保守に努めました。  
 （ ）内業者名

- 浄化槽点検 1回/月（新日本アクア）
- 給水ポンプ点検・受水槽清掃 6月、12月（テラルテクノサービス）
- 消防機材点検 5月、11月（消防機材センター）
- 自家用電気工作物保安管理業務 1回/2ヶ月（日本テクノ）
- 冷凍冷蔵庫点検、保存庫設置 5月 11月（ホシザキ）
- 玄関ポール交換 10月（マサル建設）

## 4. 車輛の整備

- シビリアン（クリーム）、コースター（ラベンダー）
    - ・3ヶ月点検（定期）、12ヶ月点検（法定）、車検
  - ハイエース（10人乗り）、キャラバン（ひかり号）、キャラバン（レインボー）、キャラバン（リンリン、ランラン）、ハイエース（リース）
    - ・6カ月点検（定期）、12カ月点検（法定）車検
  - ハイエース購入
    - 新車両導入に伴い、シビリアン（クリーム）を廃車 2月
- ※雪道対策のためタイヤチェーンを全車に配備しています。

## Ⅹ. その他

### 1. 社会福祉実習生、保育実習の受け入れ 《大学別》

東京福祉大学	－女性1名	8/6 ～8/24	15日間
--------	-------	-----------	------

淑徳大学	－男性 1 名	8/13 ～ 9/12	23 日間
社会事業大学	－女性 1 名	9/3 ～ 9/12	8 日間
千葉経済短期大学	－女性 1 名	3/4 ～ 3/15	10 日間

《男女別及び合計》

男 1 名 女 3 名 合計 4 名

2. 「介護等体験等」大学実習生受け入れ

《大学別》

順天堂大学 1 名	聖徳大学 1 名
--------------	-------------

《男女別及び合計》

男 1 名 女 1 名 合計 2 名

3. NPO法人まごころネットワーク 介護職員初任者研修の受け入れ

男性 1 名 女性 4 名

4. 職場体験、ボランティア体験、社会体験活動の受け入れ

二松学舎大学付属高等学校（V体験）	2 名
柏市立逆井中学校（V体験）	27 名
柏市立逆井中学校（職場体験）	2 名
芝浦工大柏中学校（V体験）	28 名
沼南高柳高校（V体験）	5 名
柏市立柏第五中学校（職場体験）	10 名
千葉経済大学短期学部（V体験）	2 名
土南部小学校（V体験）	1 名
風早北部小学校（V体験）	1 名

5. 産業現場等の実習の受け入れ（特別支援学校、特別学級対象）

社会福祉施設の社会的役割として、障害者の進路のひとつとして実習生の受入を行いました。

千葉県立つくし特別支援学校 高等部 3 年男性 1 名

7. 訪問美容アメリ・シュシュ

毎月最終月曜日 12 回

8. ボランティアの受入

奉仕活動を希望する地域住民をボランティア活動を通じて受入れ、利用者と平常の作業、行事等様々な形で直接、間接的にかかわることでボランティアの協力を得ました。

平成 30 年度受入ボランティア延べ人数 417 名

(平成 29 年度 421 人)

期 日	月人数
-----	-----

4月	16名
5月	29名
6月	26名
7月	30名
8月	71名
9月	31名
10月	77名
11月	26名
12月	32名
1月	29名
2月	23名
3月	27名

9. 施設見学及び来園者

平成30年度施設見学及び来園者

期 日	人 数	内 容
4. 9	1名	逆井町会
4. 19	1名	松戸特別支援学校進路指導担当教諭
5. 21	1名	柏さくらライオンズクラブ
6. 12	3名	松戸特別支援学校 PTA
6. 19	1名	シャル
7. 24	1名	わたのみ
8. 2	3名	沼南育成園
8. 10	1名	船橋夏見特別支援学校教諭
8. 30	1名	柏商工会議所
9. 6	1名	東武中原シニアクラブ
10. 9	1名	ふるさと協議会会長
11. 30	1名	逆井中学校校長
1. 8	3名	柏市肢体不自由児者を育てる会
3. 19	2名	柏市障害福祉課

10. 保護者会

・奇数月に利用者の保護者会との会合を開き、報告と意見交換をおこないました。

11. 柏市肢体不自由児者を育てる会懇談会

・柏市肢体不自由児者を育てる会の役員との懇談会を1回もち、意見交換を行いました。

12. その他協力

・保護者・ボランティア・学校・地域の方々から、資源品（古紙、アルミ缶、牛乳パック）をお持ちいただいた後、栗林商店様に回収・換金のご協力をいただき、施設建設基金といたしました。

## 共同生活援助・短期入所 増尾台ウィズホーム

### 事業報告

#### I. 会議の開催

##### 1. ホーム会議

利用者の意見・要望、職員相互の情報の共有、周知徹底、詳細手続きの決定等のためホーム会議を開催いたしました。

開催期日	主 な 議 題
6. 6	役割分担について 入浴介助について 5周年食事会について
9. 26	利用者対応について 夜勤業務について
1. 24	利用者対応について 業務分担について 災害対策について
2. 4	利用者対応について 次年度について

#### II. 研 修

##### 1. 外部研修への参加

開催日	研 修 内 容
9. 4	くらし部会参加 (人材不足について)

##### 2. 内部研修の実施

開催日	研 修 内 容
4. 19	虐待防止研修
12. 19	感染症予防について

#### III. 行政及び対外関連、会議、地域との関わり等

期 日	内 容 等
5. 27	柏市集団指導

#### IV. 生活支援

##### 1. 食事

月曜～土曜日の夕食は食材業者（ヨシケイ）より食材を納入し、調理専従の非常勤職員や職員による料理を提供しました。盛り付け・配膳は当日の夜勤、遅番職員が行います。

毎日の朝食、土曜の昼食、日曜の昼夕食は日勤、夜勤、早番職員が食材の購入や調理を行っています。メニューは両者とも質量ともに満足度の高い献立内容です。

利用者に適切な食物形態や状態（刻む、生野菜は湯通しをする等）で提供しています。

## 2. 入浴

入居者の体調をみながら2～3回/週実施しています。シャワーキャリーや入浴用リフトを使用して介助にあたります。

短期入所利用者については、2日目の利用から入浴があります。

## 3. 健康管理

毎朝起床後の体温測定、入浴前の体温・血圧・脈拍の測定等により健康状態を確認、また服薬の介助、薬の管理も行っています。また排泄記録を付け確認することで、身体のリズムを把握しながら対応をしています。

体調不良時には、保護者と確認の上、通院、居室での静養等の支援をおこなっています。

また11月には健康診断およびインフルエンザ予防接種を実施しています。

## 4. 余暇支援

ボランティアの協力を得て、地域の行事に参加や、外出で食事を楽しみました。

開催期日	内 容
5. 20	ホーム5周年記念食事会

※利用者個別に外出ヘルパーと契約し、利用者によって1回/月の程度で外出支援を利用されています。

## 5. ひまわり活動（利用者自治会）

利用者同士で話し合いをもち、充実したホーム生活を送るにはどうすれば良いか紅茶等お茶をしながら話し合いを持ちました。今年度も家庭菜園を実施しました。また旅行の企画をするために、旅行費積立通帳作成し、毎月積み立てをしています。次にボランティアさんたちとの外食を希望して実施したり、遊具の購入も進めました。

## 6. 夜間対応

2名の夜勤者で連携の上、1時間に一回程度の見回りを行い、緊急の場合に備えています。

## 7. 金銭管理

預り金管理規定に基づいて、一人3万円を限度とする現金と印鑑及び障害者手帳を保護者から預かり、ホーム内に保管しています。主に日用品、飲食物、外出・外食・行事への参加費等、個人別の支出に充てています。

個別に管理台帳を用意し、物品購入等の出金、保護者からの入金を、記帳確認し管理しています。

## V. ホーム見学者及びボランティア

### 1. 見学者

期 日	人 数	内 容
-----	-----	-----

12. 10	3名	ぶるーむ
--------	----	------

2. ボランティア 延べ5名

## VI. 防災訓練の実施、防犯体制の整備

- ・火災震災等に関してはそれに対応すべく、下記の通り防災訓練を行いました。また消防署に即繋がる火災通報装置も備えております。
- ・警備会社によるリビングルームと駐車場の防犯カメラ、玄関にはセンサーによる外部侵入者への防犯体制を整えています。加えて、12月にはガラス飛散防止フィルム（アーマーシールド）を取り付け、外部からの侵入予防措置の追加としました。

実施期日	防 災 訓 練 内 容
7. 21	自主避難訓練 ー夜間2階風呂場から出火想定 ー参加者 利用者4名・職員2名
2. 11	総合訓練（逆井分署立ち合い） ー通報訓練 ー初期消火訓練 ー2階居室から滑り台までの移動 ー参加者 利用者7名・職員4名
2. 15	自主避難訓練 ー入浴時間に2階から出火を想定 ー参加者 利用者6名・職員4名

## VII. ホーム内設備・点検・保守等

- ・消防機材点検 5月、11月（消防機材センター）
- ・ホームエレベーター点検 5月、12月、2月（パナソック・アイムス）
- ・車両 スズキエブリ 車検及び点検（アオキオート）

# 指定相談支援事業 いずみ園相談支援センター

## 事業報告

### I. 計画相談支援実績

(障害者)

- |                     |       |
|---------------------|-------|
| ・サービス利用支援（計画作成）     | 118 件 |
| ・継続サービス利用支援（モニタリング） | 209 件 |

(障害児)

- |                     |      |
|---------------------|------|
| ・サービス利用支援（計画作成）     | 10 件 |
| ・継続サービス利用支援（モニタリング） | 11 件 |

### II. 研修

- ・相談支援連絡会 12 回  
柏市障害福祉課と市内相談支援事業所が毎月 1 回集まり、事例検討、相談支援方法、地域資源の確認、情報交換等を行いました。
- ・柏市自立支援協議会相談支援部会 5 回  
相談支援連絡会の実施報告と今後の予定、課題、検討事項等、委託相談事業所と共に、指定相談支援事業所代表として参加しました。
- ・喜連川社会復帰促進センター（刑務所）視察  
再犯の防止等の推進に関する法律が施行されたため、触法障害者に対する福祉支援も求められている。今回の視察で触法障害者の理解を深めました。
- ・地域ネットワーク会議  
障害者が地域で安心して暮らせるために、専門的立場（ケアマネージャー、相談支援専門員、民生委員、社会福祉協議会、ふるさと協議会）がグループワークを行い、地域福祉の連携や役割分担を学びました。
- ・介護保険サービスと障害福祉サービスの併用について  
ケアマネージャーとグループワークを行い、介護保険と障害福祉の特性の違いや制度の併用について学びました。
- ・行動障害の理解と身体拘束～あきらめない支援～  
行動障害について理解を深めるとともに、虐待に繋がる身体拘束について様々な立場から意見交換を行った。
- ・地域ケア推進圏域会議  
南部地域の公共交通の現状を知り、地域の障害者の足の必要性を検討しました。

完